

令和8年

秋号

カスケホームグループ情報誌

じゅげむ通心

information magazine

目次

巻頭…リノベーション实例 都窪郡早島町A様邸

特別協賛…MOZUMINIチュア展レポート

カスケカレッジ卒業生の「いま」

小さいリフォームでどう変わる？



都窪郡早島町 A様邸



住み継ぐ家、まちづくり。

カスケホーム

リノベーションで かなえた 3世代の笑顔をつぐ家



A様邸 都窪郡 早稲町

施工面積	176㎡ (53.24坪)
施工箇所	1階全面、 2階セカンドリビング
工事期間	約6ヵ月
築年数	約36年
アドバイザー	高橋
プランナー	大澤
監督	河本

新築から「実家をリノベーションして3世代で暮らす」選択をされたA様。当初のLDKは少し暗く手狭でしたが、多くのゲストが集うA様ご家族のために、明るく開放的な空間へと生まれ変わらせました。お母様あこがれのアイランドキッチンが主役のLDKは、構造上どうしても撤去できなかった中央の壁をあえて美しい曲面の壁に施工。リビングとダイニングをゆるやかに仕切ることで、家族が互いの気配を感じつつ、自分の時間も気兼ねなく過ごせる絶妙な距離感を生み出しています。さらに2階には、ご主人が子供の頃から大好きだったバルコニーからの眺めを満喫できる、セカンドリビングとテラスも新設。家族との温かい繋がりと、個人の心地よい時間を両立した、あこがれのたくさん詰まった愛らしいお住まいです。



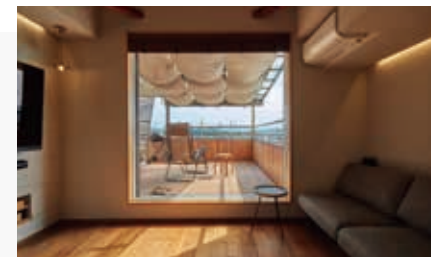
ダイニングからは小さな公園が見え、四季折々豊かな表情を愉しめます。食卓の後ろにはキッチンから続く造作棚を設置し、見た目も楽しい空間に仕上げました。



キッチン背面の造作棚は使いやすさを重視し、引き出し式としました。飾り棚には思い出の写真やインテリアなどご家族のお気に入りのものが並びます。



LDKの主役はお母様あこがれのトーヨーキッチンのアイランドキッチン。お料理教室を開かれることもあるため、大人数で使えるレイアウトとしました。



セカンドリビングとテラスをつなげる一体感のある空間として使用できるよう設計。テラスではバーベキューをしたり、映画を見たりなど用途はたくさんあります。

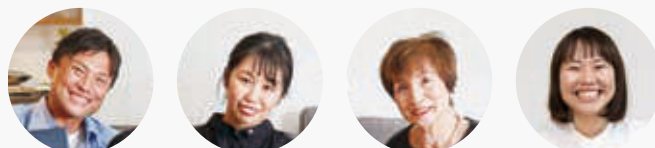


階段は位置を変えず少し緩やかとなるよう架け替えしました。やわらかい印象のオール型にくり抜いたシューズクローゼットへの入り口。



洗面と脱衣の空間を分け、身支度や入浴時に混雑せず使える設計になっています。収納も2世帯分。また造作の洗面台は並んで使えるように大きめのものにしました。

＼ A様にお聞きしました！ ／ お客様インタビュー



ご主人様 奥様 お母様 大澤

Q.リノベーションをしようと思ったきっかけを教えてください。

ご主人様：最初は新築を検討していて、展示場を家族で見に行ったり土地も探していました。両親にもそのことを伝えると「私たちの部屋はどこに作るん？」と言われて、一緒に暮らしたいのかなと感じました。この家（実家）があったので、ここをリノベーションして一緒に暮らせたらいいのかなと思ったのがきっかけです。

Q.カスケホームに依頼した決め手を教えてください。

ご主人様：何社か話を聞いていたうちの一社がカスケさんでした。現地調査に来てもらった時に自分たちの要望を伝えて

いて、次の打合せに持ってきてくれたのが想像していた家のイメージに近かったのでもいいなと思って。そのままプランを書いてみてください、とお願いしました。その時は僕の祖母も生きていて4世代で暮らしていくつもりでした。そのことを伝えたら、僕たちが考えもしなかった間取りがポンと出てきて、それがカスケさんをお願いした決め手になりました。

Q.どんな要望をお持ちでしたか？

ご主人様：もともとの間取りはリビングが暗いのが悩みでした。姉が2人いて年末とかは16人がこの家に集まるから、リビングはみんなが集える場所にしたいと考えていました。普段、母のお客さんも多かったので「明るくてみんなが集える場所」が一番の希望でした。あとは、セカンドリビングとベランダですかね。ずっとベランダからの景色が好きだなと思っていて、好きな景色を見ながら暮らしたいという僕のわがまを聞いてもらいました。

Q.カスケホームの提案や打ち合わせはいかがでしたか？

ご主人様：いろんな要望を言っていました、次の打合せではそれを反映してくれてるのですごく楽しかったですね。

夫婦で家について話す機会も増えました。リノベーションなので解体してみると思っていたことと違うところもあって、その時には会社全体で対応してくれている感じがすごかった。セカンドリビングの梁も解体したら出てきて、これも使いたいですと伝えたら「じゃあ天井を上げましょうか！」とすぐに対応してくれました。

大澤：増築部分と既存の境の壁がとれなかったところもありましたね。

ご主人様：残さざるをえなかった壁ですね。インスタなどを見て活かし方をいろいろと悩みました。

大澤：LDKが広くて全部一望できるのもいいかもしれませんが、あの壁があるからこそ、家族がお互いを気にしながらも自分だけの時間も過ごせるというか。共存しながらも気にせずにいられる、ブラインド替わりとなるのではと思いました。

Q.新しい暮らしはいかがですか？

奥様：家族でダイニングを囲んで、その後ろにはお気に入りのディスプレイがあって。はじめは2世帯で暮らすことを迷っていましたが、みんなが心地よく暮らしている風景を見るとよかったなと思います。

ご主人様：セカンドリビングのウッドデッキで椅子に座って、夜にお酒を飲んだり音楽を聴いたり、ボーっとしている時間が贅沢で好きです。そのまま寝落ちしています。（笑）あとは子供たちが庭で遊んでいた、家族が集まってウッドデッキでバーベキューをしているときは、僕の夢が叶ったなと思える時間です。

お母様：すごく快適に暮らしています。お客さんが入ってきても、あのオール型の壁があるおかげでダイニングは全く見えないんです。プライベート感も出て。以前（リノベーション前）の家もこだわって作りましたが、もう40年も経っていたので、今の暮らしに合う家だと思っていました。完成してからは主人とよかったなといつも言っています。この年になるとなかなかリノベーションなんてできないですが、一緒に暮らしてくれることになって、ありがたいです。



A様邸の施工事例は
Webサイトで詳しくご覧いただけます

感動とワクワクに包まれた、 開会式&内覧会の模様を お届けします！

今年7月18日から8月30日まで岡山シティミュージアムで開催され、大盛況のうちに幕を閉じた「Mozuミニチュア展」。SNS総フォロワー150万人を超える大人気クリエイター・Mozuさんの岡山初上陸となった本展に、カスケホームグループは特別協賛として応援させていただきました。今回は、一般公開に先駆けて行われた熱気あふれる開会式と、特別な内覧会の様子をレポートいたします！

開会式



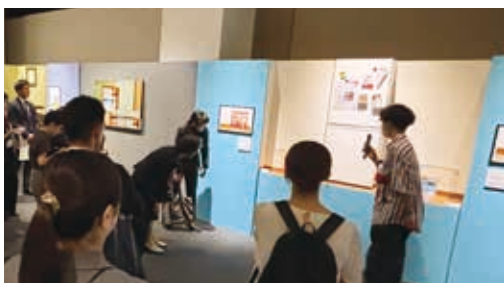
建築を通して
「ものづくりの尊さ」を伝えたい

開会式には、カスケホームグループ代表取締役の安藤辰が出席いたしました。安藤は挨拶のなかで、次のような「ものづくり」への熱い想いを語りました。
「その人の個性や才能から生み出される『ものづくりのすばらしさ』が、多くの人に伝わってほしい。そして、自分の手で物を作り出し、それが尊重される世の中であってほしいと願っています。長年、建築を通して皆さまの家づくりに向き合ってきたカスケホームだからこそ、この素晴らしい展覧会に協力できたことを心から嬉しく思います」

写真を撮る楽しさ満載！
五感で楽しむ仕掛け



会場内は嬉しいことに大部分が撮影OK！SNS映えする不思議な写真や動画がたくさん撮れるとあって、参加者からも歓声が上がっていました。
精巧なミニチュア作品のほかに、自分がミニチュアの世界に迷い込んだような体験ができる巨大な「作業機のフォトスポット」や、錯視を利用した楽しい「トリックアート（トリックラクガキ）」など、大人から子どもまで時間を忘れて夢中になれる工夫が随所に散りばめられていました。



内覧会

クリエイター
本人と巡る、
超精密な世界

続く内覧会は、なんとクリエイターのMozuさん自身から直接作品の解説を聞くことができる「ギャラリートーク形式」という大変贅沢な時間となりました。



「見えない裏側」にこそ宿る、
職人精神

内覧会では特別に、通常の展示では見ることができない作品の裏側を、Mozuさん自ら手に取って見せてくれる一幕も！驚いたことに、表からは見えない裏側まで一切手を抜かず、緻密に作り込まれていました。
「普通の人なら気が狂ってしまいそうな細かい作業ほど、自分は楽しくて好きなんです」と笑顔で語るMozuさん。



地域の皆様に、
豊かな体験をお届けするために

担当者より

カスケホームグループは、これからも住まいづくりだけでなく、地域の皆さまがワクワクするような文化・アート活動の支援を通じて、豊かで笑顔あふれる「まちづくり」に貢献してまいります。ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました！

カスケカレッジ 卒業生の “いま”をお届け！

※カスケカレッジ＝カスケホーム独自の新入社員研修制度。約半年でマナーや自他部署の業務を幅広く学びます。

かつて温かく見守っていただいた新入社員たちも、
今や現場を引っ張る頼もしい存在に成長しました！現在の活躍の様子をご報告します。

Q1. カレッジ（新卒研修）時代と比べて、
お客様と接する上で「自分が一番成長
した・大切にしている」と思うところは？

A 私がカレッジ時代から成長したことは、アドバイザーの仕事は「モノ売り」ではなく「コト売り」と気づいたことです。ただ単に設備（モノ）を交換したり作ったりするのではなく、お客様の暮らしを以前よりも良くするということを大事にしています。

Q2. お引渡し後に、お客様から言われて
一番心に残っている嬉しい言葉や
エピソードは？

A 一番の嬉しい言葉を決めるのは難しいですが、やっぱり「またお願いします」という言葉が嬉しいです。小さな悩みでも大丈夫ですので、身近な相談役になれているという実感が沸きますので、これからもどんどんご連絡お待ちしております！

リフォームアドバイザー
三島（2022年入社）



設計
横松（2023年入社）



Q1. カレッジ（新卒研修）時代と比べて、
お客様と接する上で「自分が一番成長
した・大切にしている」と思うところは？

A 「日々知識を吸収すること」を大切に、提案知識が増えたことが一番の成長です。実務未経験の新卒時と違い、業務や建築巡りで知識を深め、今では打合せのその場でプランをご提案できることも増えてきました。

Q2. お客様の「理想の暮らし」をカタチ
にするために、図面を描くときに
絶対に妥協しないこだわりは？

A 「生活動線の改善」と「愛着が湧くポイント作り」です。家事や収納の動線を整えて暮らしやすい空間にするのはもちろん、必ず特別なこだわりを一つ作り、長く愛されるお住まいを設計しています。

Q1. カレッジ（新卒研修）時代と比べて、
お客様と接する上で「自分が一番成長
した・大切にしている」と思うところは？

A 思い返してみると、知識が足りない！と頭を悩ませることが少なくなったなと感じます。また、少し気分が落ち込むことがあっても2～3日あれば立ち直れるようになりました。

Q2. お客様にとって一生モノの住まい
（土地・建物）をご提案する上で、
いつも心がけていることは？

A 買主様、売主様を問わず、ご提案した内容がお客様にとって一番良い選択をできるものなのか？最適だと自信をもっておすすめできるものか？ということ、常に自分自身に問いかけるようにしています。

不動産アドバイザー
蟻塚（2024年入社）



皆さまからいただいた温かいお言葉や励ましが、彼らの大きな成長の糧になっています。

まだまだ伸びしろたっぷりの若手たちですが、地域の皆さまの暮らしを支えるプロとして今日も元気に邁進中です！これからも成長していく姿を、どうか温かく見守っていただけると嬉しいです。

カスケスタッフブログ



「電球色」「昼白色」「昼光色」とは？

こんにちは！カスケホームの横松です。

今回は、照明の色についてお話させていただきます。
LEDライトの色は、オレンジがかった暖かい「電球色」からすがすがしくさわやかな青みがかった「昼光色」まで大きくは4種類ほどに分けられます。

それぞれ適した空間は↓こちらの通り！

●電球色（オレンジがかった暖かい光）

リビングや寝室など、くつろいでリラックスするための部屋に適しています。食べ物美味しく見える色でもあるので、ダイニングにもオススメです。

●温白色（中間色の黄色っぽい光）

落ち着いた明るさの光色で、近年人気となっています！リビング・ダイニングなど団らんの部屋に適しています。

●昼白色（自然な白い光）

昼間の太陽光に近い、生き生きとした自然な光色で、調理をするキッチンやメイクなどをする洗面台、服を選ぶ鏡のある場所に適しています。文字や食材などの色味をはっきり認識することに適した光です。

●昼光色（すがすがしくさわやかな青みがかった光）

オフィス、勉強部屋、在宅ワークや子どものリビング学習、読書をする場所に適しています。

光の色で、部屋の印象も変わってきますね！

また、光の色を変えることのできる調色タイプの照明もオススメです。くつろぐお部屋でもあり、お子様が宿題をするお部屋でもあり、といった様々な用途で使われる場合、調色タイプを選んでみてはいかがでしょうか。



電球色

温白色

昼白色

昼光色

電球色に似た暖かみのある光色

暖かみのある光色

やさしい自然な光色

すがすがしいさわやかな光色



設計部
横松

ブログ全文は
こちら



ちょっと変える

で、暮らしが変わる。

小さいリフォームで、どう変わる？そんなお客様の生の声から生まれた特別企画！

毎日使う場所だからこそ、わずかな不満を解消するだけで、日々のストレスがずっと軽くなります。

工期も短く、費用もお手頃。毎日を今よりちょっと便利に、そして安全にしてくれる人気のプチリフォームを集めました。

あなたの「気になるところ」も、サクッと解決してみませんか？

トイレ

ウォシュレット故障を機に便器と床を一新。冷たいタイル床を下地補修し、継ぎ目のないクッションフロアへ貼り替えました。汚れや跡が気になっていた床が拭きやすくなり、自動開閉便座で使う際の手間も解消です！

施工費用 約30万円

施工日数 2日

詳細はこちら



掃除も
手動もスキップ。
賢く快適トイレ



Before

After

手すり

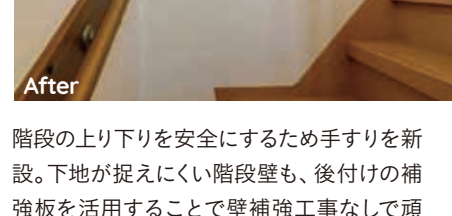
階段の上り下りを
安心に！
補強板で綺麗＆
しっかり設置

階段の上り下りを安全にするため手すりを新設。下地が捉えにくい階段壁も、後付けの補強板を活用することで壁補強工事なしで頑丈に固定できました。見た目も綺麗に仕上がりに、毎日の移動がグッと安心に変わります！

施工費用 約12万円

施工日数 1日

詳細はこちら

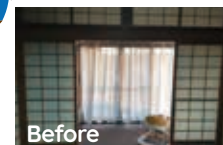


After

Before

和室

い草香る、
モダンな和空間へ。
新調＆貼替えて
心一新



Before

詳細はこちら



経年変化で傷んでいた畳・襖・障子を一括でキレイに刷新。日焼けや傷みがスッキリ解消し、新調した畳の爽やかな香りと明るいデザインで、古くなった和室がご家族やゲストを心地よく迎える上質な空間に蘇ります！

施工費用 約40万円

施工日数 4日

※お預かり期間含む



After

においも湿気もすっきり。
貼るだけ高級アクセント

エコカラット

洋室の壁一面にデザイン壁材エコカラットを施工。気になる生活臭や冬の結露・乾燥を快適にコントロールします。シンプルなクロスから上質な質感へ変身、まるでホテルのような高級感あふれる空間に！

施工費用 約23万円

施工日数 2日

詳細はこちら



After

Before

外構

施工費用 約20万円

施工日数 1日

土や砂利のままだった玄関アプローチに天然石を施工。雨の日のぬかるみや泥はねをなくし、靴や玄関が汚れるストレスをスッキリ解消します。毎日の行き帰りが快適になり、家の印象もパッと明るく高級感UP！

詳細はこちら



雨の日も足元安心。
泥はねを防ぐ
憧れの石畳



Before



After

住まいのお悩み 解決 Q&A

読者アンケートでいただく住まいのお悩みをカスケスタッフがズバリ解決していくコーナー



秋の衣替えをしようとしたら、クローゼットの奥の服にうっすらカビが…！
秋の長雨の時期でも、収納スペースをカラッと保つコツはありますか？



夏に溜まったお家の湿気と、秋の長雨による湿気が重なるこの時期は、一年の中で最も「秋カビ」が発生しやすいシーズンなんです。衣替えのついでにできる対策を3つご紹介します！



設計部
西山

1 収納は「8割」にとどめて 空気の通り道を！

服をぎゅうぎゅうに詰め込むと、湿気が逃げずカビの温床になります。全体の2割ほど隙間を空ける「8割収納」を意識し、お持ちであれば「すのこ」を下に敷くだけで空気の流れが劇的に良くなります。



2 晴れた日は「窓を2箇所」 開けてスピード換気

秋の晴天の日は大チャンス！クローゼットや押し入れの扉を全開にし、お部屋の窓を2箇所開けて空気の通り道を作ります。扇風機やサーキュレーター風の奥に向かって送ると、さらに効果的です。



3 「壁と家具」の間には コブシ1個分の隙間を

タンスやチェストなどの置き家具を壁にピッタリくっつけていませんか？壁との間に少し（コブシ1個分ほど）隙間を空けて設置し直すだけで、家具の裏側の結露やカビを予防できます。



寒くなると増えるお湯のトラブル！ ご自宅の給湯機、 冬を迎える準備はできていますか？

寒くなるとお問い合わせが急増する給湯機のトラブル。
「寒い日にお湯が出ない…」なんて焦ってしまう前に、
原因と困ったときの対処法をチェックしておきましょう！



1 なぜ？冬場に給湯機の故障・トラブルが増える原因

① 給水温度の低下による「高負荷運転」

冬場は水道水そのものが冷たくなります。目標温度まで温めるため普段以上にパワーが必要となり、内部の部品に大きな負荷がかかり続けます。

② 配管の「凍結」

氷点下近くまで気温が下がる夜や早朝、屋外の配管内の水が凍ってしまうことで、水漏れや給湯ストップを引き起こします。

③ お湯の使用量増加に伴う「潜在的な劣化の表面化」

設定温度を上げたり、追い焚き回数が増えたりとお湯の使用量が急増します。長年の使用で弱っていた部品が、この負荷に耐えきれず限界を迎えてしまうのです。

2 困ったときの症状別・対処法ガイド

温度が安定しない (熱くなったりぬるくなったりする)

原因
混合弁（お湯と水を混ぜる部品）の劣化、または複数箇所での同時使用

対処法
他のお部屋で同時にお湯を使っていないか確認してください。一箇所のみの使用でも温度が安定しない場合は、給湯機内部の温度調整部品が劣化しているサインです。

異音をする

原因
バーナーやファン、ポンプなどの部品劣化やゴミの付着

対処法
「ピー」「キーン」という高い金属音や、「ボンッ」という大きな着火音がする場合は危険です。安全装置が作動する前に、使用を中止して点検をご依頼ください。

本体や配管からの水漏れ

原因
配管のパッキン劣化、凍結による配管破裂、タンクの破損

対処法
給湯機の止水栓（元栓）を閉め、電源プラグを抜いて（※感電に注意）使用を中止してください。水漏れを放置すると内部の電気基板がショートし、完全に壊れてしまう原因になります。

3 交換時期の目安と買い替えサイン

交換目安の セルフチェックリスト

- ☐ 設置から10年以上経過している
- ☐ リモコンにエラーコードが頻繁に出るようになった
- ☐ 沸き上げ時や点火時に異音・異臭がする
- ☐ 本体や配管から水漏れしている／屋外配管の保温カバーが破れている

給湯機の平均寿命
(耐用年数) は
およそ 10 年～15 年と
言われています。



3個以上あてはまる方

突然動かなくなってしまう可能性があります。早めの交換をおすすめします！

「うちの給湯機、そろそろ寿命かな？」
「エコキュートに替えたら光熱費はどれくらい変わる？」など、
気になることがあればいつでもカスケホームまでお気軽にご相談ください！

最新のエコキュート
ラインナップはこちら



カスケホームが、法人・店舗向けの新事業をスタート！

「カスケビズワークス」始動。

右記の設計・工事・改修は
カスケビズワークスに
お任せください。

店舗	オフィス	工場・倉庫	クリニック	介護・保育施設
飲食店・物販・美容・サロン等	事務所・社屋・レイアウト刷新	遮熱・外装防水・空間有効活用	医院・診療所・薬局	デイサービス・保育園・学童・塾

施工事例

● お施主様名：グリーンコープ生活協同組合おかやま様



施工内容
倉庫から店舗・事務所・託児スペースへの
大規模改修・用途変更工事

倉庫から地域に愛される 大型複合拠点へ変身

グリーンコープ生活協同組合おかやま様の拠点として、鉄骨造の倉庫を店舗・事務所・託児スペースへ用途変更する大規模なリノベーション工事を手掛けました。
空間づくりでは、倉庫特有の高い天井やダイナミックな構造美をそのまま活かしつつ、ブランドイメージに寄り添うあたたかみのある木素材を使用し、居心地の良いお洒落なショッパ空間を実現しました。
また、日々の業務効率を高める事務所スペースを店舗に隣接して配置。元々の建物のポテンシャルを活かしながら、機能性と地域コミュニティの拠点を兼ね備えた、多機能な複合空間へと再生させています。

地元倉敷・岡山のはたらく場所を、もっとこころよく。

私たちカスケホームは、長年住まいづくりを通じて地域の皆様の暮らしに向き合ってきました。住宅リフォームで培った確かな経験とノウハウを活かし、これからは地元の企業様、オーナー様の「はたらく環境」を快適にするお手伝いをしたい——。そんな強い想いから、非住宅専門事業「カスケビズワークス」を立ち上げました。

カスケホームの一級建築士が、
直接ご対応いたします！

一級建築士：倉森 仁司



HPIは
こちら
から！



相続した実家、 そのままになっていませんか？

カスケ不動産では、
土地・中古住宅の買取を行っています。

- ✓ 空き家の管理が大変
- ✓ 相続した不動産を整理したい

土地・中古住宅・空き家・相続不動産など、
お気軽にご相談ください。

対応エリア 倉敷市・岡山市・総社市

[査定・ご相談無料]

カスケ不動産 玉島店 ☎0120-570-433

※物件の状況や立地条件等により、買取できない場合がございますので
ご了承ください。

じゅげむ通心担当者の あとかき

じゅげむ通心担当
カスケホームグループ
広報担当 佐藤



いつも「じゅげむ通心」をご愛読いただき、ありがとうございます。朝晩は秋の気配も感じられる季節となりましたね。

皆様、7月より放映中のカスケ新TVCMはもうご覧になりましたか？「カスケでリフォーム〜♪」というフレーズが印象的なCMです。
今年は建築業界にとって試練の年となりましたが、こんな時だからこそ原点であるリフォームを強化すべく、エコキュート専門の「チカラもち」や法人向けの「カスケビズワークス」などの新事業を始動しました。もちろん、小さな修理からお家の困りごとを解決する姿勢は変わりません。新CMのフレーズ通り、これかも「カスケでリフォーム」と皆様に頼っていただけるよう、暮らしの空間を快適にしていきたいと思います！

次回は2027年1月頃の発送です！お楽しみに♪



若旦那コラム

Column



皆さま、いつもお読みいただきありがとうございます。
 書いています。8月中旬は厳しい猛暑が続いていますが、レターが届く9月中旬には少しでも和らいでいるでしょうか。そんな酷暑のなか、熊本で震度7の大きな地震が発生し、多くの方が避難生活を余儀なくされています。10年前の4月にも大規模な地震がありました。容赦のない自然の猛威には胸が痛むばかりです。

私自身、学生時代に阪神・淡路大震災を経験して以来、可能な限り被災地に足を運び、微力ながら支援活動が続けてきました。その中で強く実感するのは、「一人ひとりの善意は小さくても、集まれば人々を支える大きな力になる」ということです。

ネットなどではボランティアや寄付に対して「偽善」や「自己満足」といった声もあります。確かに配慮が行き届かない面はあるかもしれませんが、それでも「何もしないこと」より「誰かのために動くこと」のほうが、遥かに価値があると私は信じています。

「全員が1日1つゴミを拾えば地球は美しくなる」「半数の人が願えば争いはなくなる」——そうした理想を胸に、今回も熊本へ行ってきます。自分ができるささやかなことを、一つひとつ積み重ねてくるつもりです。



ちょっと一息

脳トレ!

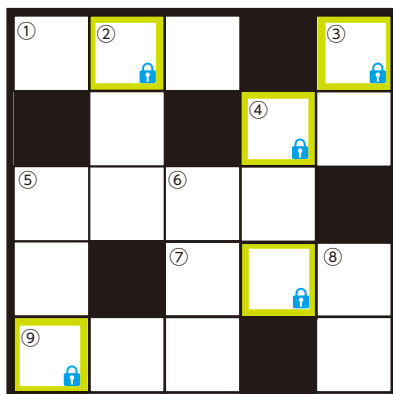
クロスワード

正解者の中から抽選で3名の方に
 500円分のQUOカードプレゼント!

「カギ」をもとに言葉を埋めていって、
 答えを導き出してください!
 あなたは何分で解けるかな?!

答え

ヒント：夏の終わりから秋にかけて咲く花。



タテのカギ

- ② 絵の題名。絵画の題材。絵のテーマ。
- ③ 多数の乗客を乗せ、あらかじめ決められた路線や用途に合わせて運行する乗合自動車。
- ④ 数字の9。ドイツ語の「いいえ」。
- ⑤ 事業を運営し利益を得るために必要な支出。
- ⑥ 多く発生すること。
- ⑧ 模様。体の大きさ。物の性質や感じ。ふざかしい立場や性質。

ヨコのカギ

- ① 人間の体のはたらきや病気について研究する学問。
- ④ 夏から秋が旬の紫色の野菜。
- ⑤ 手に持ったり、身に付けたりして持ち歩くこと。
- ⑦ 版を用いて転写した絵。
- ⑨ くしゃみなどをした際に、口や鼻から空気中に飛び散る細かな水滴やしびき。



応募方法

□のマスに書いた文字を並べ替えてください。
 同封しているアンケートはがきか、
 WEB アンケートにてご応募できます!

応募締切

2026年10月31日(土)
 当日消印有効

当選発表

・倉敷市 F様
 ・岡山市 K様
 ・倉敷市 M様

前号の答え

ボンオドリ

玉島本店 ☎ 0120-570-444



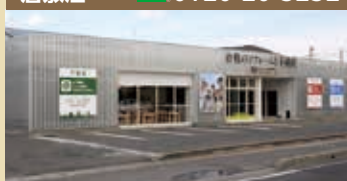
☎ 713-8122 倉敷市玉島中央町1-22-30
 ☎ 10:00 ~ 17:00 休 水曜・第2・4日曜

笠岡店 ☎ 0120-570-554



☎ 714-0081 笠岡市笠岡276-4-5
 ☎ 10:00 ~ 17:00 休 水曜・第2・4日曜

倉敷店 ☎ 0120-20-5252



☎ 710-0807 倉敷市西阿知町16-2
 ☎ 10:00 ~ 17:00 休 水曜・第2・4日曜

岡本店 ☎ 0120-677-588



☎ 700-0951 岡山市北区田中137-111
 ☎ 10:00 ~ 17:00 休 水曜・第2・4日曜

吉備総社店 ☎ 0120-677-058



☎ 701-1334 岡山市北区高松原古才592-1
 ☎ 10:00 ~ 17:00 休 水曜・第2・4日曜

みずさぼ ☎ 0120-677-117



☎ 710-0062 倉敷市浜町2丁目851-4
 ☎ 10:00 ~ 17:00 休 水曜・第2・4日曜

カスケ ☎ 086-523-0505



☎ 713-8122 倉敷市玉島中央町2-3-6 P-MALL内
 ☎ 8:45 ~ 17:00 休 土日定休

カスケホームグループ
 公式LINE
 便利なお友だち登録をお願いします!

